

稲葉 政満(美術学部保存科学)

『図書館・文書館における環境管理(シリーズ本を残す8)』

私が芸大に赴任にした1990年前後は酸性紙問題で図書館・文書館は揺れていた。その中で、日本図書館協会の保存委員会の下に、木部徹氏が「資料保存の基礎技術ワーキンググループ」を立ち上げた。そこでは、普通は聞けない各館のトラブル例まで知ることができた。たとえば、浸水経験。ある館の例がでると、実はうちもうちもと、ごく普通に起きることが分かった。また、保存箱の作成などの実習、そして痛んだ実物の本を囲んでの討論。毎月、出席するのが楽しみであった。

そのワーキンググループで最後の年に5回行った紙資料のための環境管理の話がこの本の基礎になっている。本としてまとめるにもこのグループの方を中心に多くの方にお世話になった。まとめるのは大変であったが、この本はその当時の楽しかった自分の勉強時代も思い出させてくれる。

(2002年11月 教官アーカイブ展に寄せて)